

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 2 月 3日

公表:令和 3年 4月 10日

事業所名 チームごちゃまぜきっず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		様々な活動に合わせた環境設定を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		職員の配置は適切であり、個別への対応を意識して配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		行事やイベントの実施には企画、提案、実施、フィードバックまでを担当を決めて行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご意見をもとに改善を行い、2019年度保護者交流イベントや個別面談などを行った。	2020年度は新型コロナウイルスの影響により、実施できていない。2021年度は個別面談をWEB面談等、様々な方法で実施したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		法人のホームページで公開。事業所内に掲示している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		強度行動障害に対応するための研修や、支援のスキルアップに関する研修などに参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者の方より支援に必要なニーズや課題を聞き取ったうえで、個別の支援に活かしている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人で検討したアセスメントシート様式(標準化されたもの)を使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		サポーター全員が参加する会議等内でプログラムの立案を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動に関する話し合いを随時行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個別に時間割を作り対応している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別療育の時間と、集団で活動できる様々な行事や活動を実施し、適宜組み合わせ活動出来る計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前中に毎日ミーティングを行い、活動内容や役割分担の確認を行っている。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	支援終了後すぐに、送迎を行う為、当日打ち合わせは出来ていないが、当日共有すべき内容があれば、業務用のメールなどで随時共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○	定期的なモニタリングで支援目標の達成度を測定し、必要に応じて計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○	ひとりひとり異なる興味や意欲に応じて複数の活動を組み合わせ合わせて支援している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在、医療的ケアが必要な子どもさんのご利用は無い。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	必要に応じて、児童発達支援管理責任者が保育園・幼稚園等と情報共有し相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		必要があれば連携し、研修や助言を受けることも検討していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルスへの対応で、外部との交流は控えている。収束後は積極的に機会を作っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	送迎時の会話や、連絡帳により子供の状況を伝えている。 ラインで活動の動画共有するなど日頃の状況を見ていただくように努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後検討していきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	利用開始時に行っている。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		新型コロナウイルス感染症対策の為、保護者会などの開催は見合わせている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1回ごちゃまぜ通信を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回以上の避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		全てのサポーターが毎年法人内虐待防止研修を受講している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在利用されている子どもさんで身体拘束を想定される方はいない為、放課後等デイサービス計画に記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーについては、保護者からの聞き取りの際に必ず確認を行うようにしている。医師の指示書は提示されていない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミスや事故は細大漏らさず、必ず管理者に報告する体制をとっている。ヒヤリハットの事例があった場合には、報告書を迅速に作成し、事業所内で共有している。	